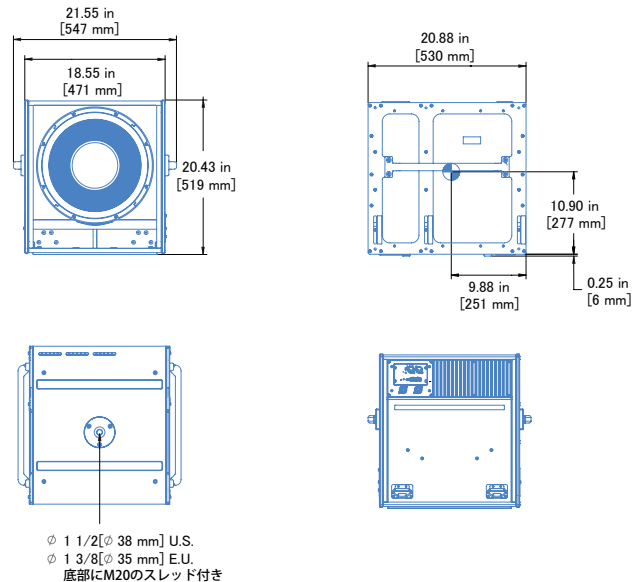


## 750-LFC コンパクト低周波コントロールエレメント



(オプションのQuickFly®リギングを装着した状態です。)



(リギングバージョンの寸法表示)

Meyer Soundのコンパクトな低周波コントロールエレメント750-LFCは、極めて低い歪みで、高い継続出力レベルの低周波を奏でます。750-LFCは、Meyer Soundの900-LFCと同じ音の再現性を、より小型で軽量のキャビネットを実現しており、ポータブルアプリケーションやあらゆるサイズの固定設備に適したスケーラブルなシステムの構築に理想的です。

新設計のクラスDアンプを搭載することで、これまでにない高効率を実現し、歪みを大幅に低減するとともに、消費電力と動作温度を抑えています。アンプと制御回路は、現場で交換可能な1つのモジュールに搭載されています。

LINA™システムとの組み合わせに加え、750-LFCはLEOPARD™やULTRAシリーズなど他のMeyer Soundラウドスピーカーシステムとも容易に連携することができます。

アレイ機器のマトリックスルーティング、配列、プロセッシングを行うMeyer SoundのGalileo® GALAXY Network Platformsは、LINAと750-LFCラウドスピーカーを駆動することができます。最適なパフォーマンスを保証するために、Meyer SoundのMAPP™システムデザインツールを使用して750-LFCを使用したシステムを設計してください。

LINAと750-LFCラウドスピーカーは、Mac®またはWindows®ベースのコンピュータからシステムパラメーターを包括的に監視できるMeyer SoundのRMS™リモートモニタリングシステムと連携できます。

750-LFCは、Meyer SoundのQuickFly®リギングと一緒に使用することもできます。オプションのMRK-750リギング・キットを装備した場合、750-LFCのキャプティブGuideALinks™で、LINAアレイのMG-MINA/LINA多目的グリッドから750-LFCとLINA間の変換フレームなしでライティングさせることができます。

750-LFCは、0°、1.5°、3.25°、または4.75°の可変スプレッド角度を持つサブウーファーアレイとして別々にライティングしたり、750-LFCをカーディオイド型アレイに構成して、スピーカーの背後の出力を減らすこともできます。

750-LFCにオプションのリギングキットMRK-750を装着することで、750-LFCとLINAの間に変換フレームがなくてもグラウンドスタックアレイを構築できます。オプションのMG-MINA/LINAグリッドにより、グラウンドスタック用の広いベースを作ることができます。

オプションのMCF-750キャスターフレームと保護カバーを使用すれば、750-LFCの両バージョンを積み重ねて輸送することが可能です。

750-LFCのポールマウントは、MUB-MINA/LINA、UブラケットやMYA-MINA/LINAヨークを使用して、1台または2台のLINAを上部に簡単に設置することができます。また、ポールマウントを使用して、750-LFCとULTRAシリーズのラウドスピーカーを組み合わせ使用することもできます。

## 特徴と利点

- コンパクトなキャビネットで、省スペースと驚異的な出力対サイズ比を実現
- 高いピーク出力と極めて低い歪み
- 卓越した再現性、周波数特性、低域の鮮明性
- セルフパワーデザインにより、セットアップの簡素化と安定化を実現
- スプレイオプション付きでレギュラーアレイやカーディオイドアレイで積み重ねてフライング可能
- LINAシリーズやULTRAシリーズのラウドスピーカーとの組み合わせを容易にするポールマウント用レセプタクルを内蔵

## アプリケーション

- ツアーや法人向け、固定設備向けなど、用途に応じた拡張性の高い低周波コントロール
- クラブ、劇場、礼拝堂、企業AV、テーマパーク
- LINA、LEOPARD、ULTRAシステム用の低周波補完

## アクセサリおよび関連製品

**MCF 750 Caster Frame:** 750-LFCキャビネットを3台まで安全に運搬するための頑丈なキャスターフレームです。MRK-750リギングを取り付けたキャビネット用と取り付けていないキャビネット用の2種類をラインナップしています。2台、3台スタック用の耐久性の高いナイロン製カバーもあり、750-LFCを完全に移動可能な状態にすることができます。

**PBF-LINA Pull Back Frame:** LINAおよび750-LFCアレイのボトムキャビネットに取り付け、アレイの極端な下向けに対応するプルバック機能を提供します。

**MPK-POLE:** 頑丈な一体型ポールマウントを使用して、Meyer Soundラウドスピーカーを750-LFCの上にマウントすることが可能です。スチール製で、2つのモデルがあります：

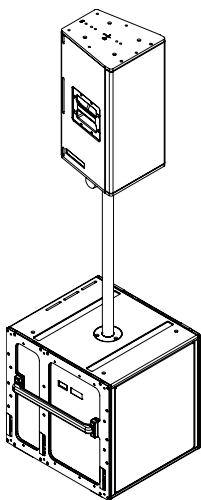
MPK-POLE 35-adjustable: (長さ32~55インチ) 35mmポール、38mmアダプターが付属しています。

MPK-POLE 35MM/M20-fixed: (長さ47インチ) 35 mmポール、片端にM20スラッグが付いた、EUバージョンに最適なポールです。

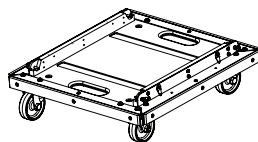
**MG-MINA/LINA/750-LFC Multipurpose Grid:** 750-LFCのアレイ、または750-LFCとLINAの混合アレイを変換ハードウェアなしでサポートします。4角とセンターに11個あるピックアップポイントで様々なピックアップ構成に対応します (GLK-750-LFC Grid Link Upgrade Kitのリアリンク2本を含む)。リギング定格荷重は必ずMAPPでご確認ください。

**Galileo GALAXY Network Platform:** Galileo GALAXY Network Platformは、複数のゾーンを持つスピーカーシステムのために、最先端のスピーカーマネジメントコントロール技術を提供します。完璧な音響性能を持ち、あらゆる用途に対応した補正的なルームイコライゼーションとクリエイティブな微調整のための強力なツールセットを提供します。また、GALAXYデバイスの改良されたDelay Integrationにより、LINAと750-LFCを別のMeyer Soundラウドスピーカーと組み合わせることができます。

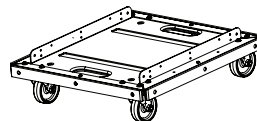
**GLK-750-LFC Grid Link Upgrade Kit:** 後部リンク2本と取り付け金具が含まれています。MG-MINA/LINAグリッドの中央リンクの代わりに後部リンクを使用することで、750-LFCに取り付けた際のグリッドの定格荷重を効果的に増加させます。



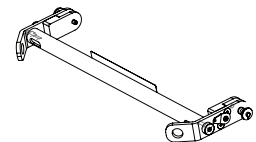
MPK Pole



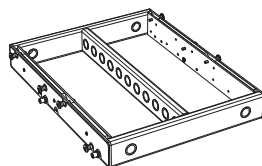
MCF 750 Caster Frame—Rigging



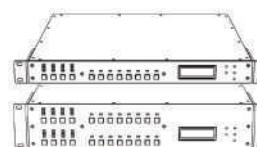
MCF 750 Caster Frame—No Rigging



PBF-LINA Pull Back Frame



MG-MINA/LINA Multipurpose Grid  
(with GLK-750-LFC grid link  
upgrade kit)



GALAXY Network Platform

## 仕様

音響 <sup>1</sup>	
動作周波数範囲 <sup>2</sup>	35 Hz - 125 Hz
周波数特性 <sup>3</sup>	37 Hz - 110 Hz ±4 dB
位相応答	43 Hz - 110 Hz ±30°
リニアピークSPL <sup>4</sup>	130.5 dB、クレストファクター→9 dB(Mノイズ)、130.5 dB(ピンクノイズ)、132 dB(Bノイズ)
指向角度	
	360° (1台);台数や構成によって異なります
トランジューサー	
低域	15インチ、デュアルコイル、ロングエクスカーション・コーン・ドライバー×1、公称インピーダンス2 Ω
オーディオ入力	
タイプ	差動式、電子バランスタイプ
最大同相範囲	±15 V DC, 過渡電圧保護のためにアース接続
コネクタ	XLR 3ピンメス入力、オスループ出力。オプションの5ピンコネクタにより、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応。
入力インピーダンス	2-3ピン間10 kΩ 差
配線 <sup>5</sup>	ピン1: 1kΩ、1000pF、15Vクランプネットワークを介したシャーシ/アースにより、オーディオ周波数での仮想グラウンドリフトを提供します。 ピン2: オーディオ信号 (+) ピン3: オーディオ信号 (-) ピン4: RMS ピン5: RMS ケース: アースグラウンド・シャーシ
公称入力感度	6.0 dBV(2.0 V rms)連続 通常ノイズ/オーディオ信号のリミッター開始ポイント
入力レベル	オーディオソースは、ラウドスピーカーの動作帯域幅で最大ピークSPLを生成するために、600 Ωで+20dBV(10V rms)を生成できるものである必要があります。
アンプ	
タイプ	2チャンネル、オープンループ、クラス D
総出力電力 <sup>6</sup>	3100 W (ピーク)
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	対流
AC 電源	
コネクタ	powerCON 20 入力 (ループ出力付き)
自動電圧選択	90-265 V AC; 50-60 Hz
安全定格電圧範囲	100-240 V AC, 50-60 Hz
ターンオンとターンオフ	AC90Vターンオン、ターンオフなし、AC265V以上の内部ヒューズによる保護
消費電流	
アイドル電流	0.39 A rms (115 V AC), 0.38 A rms (230 V AC), 0.42 A rms (100 V AC)
最大連続消費電流	5.3 A rms (115 V AC), 2.7 A rms (230 V AC), 6.2 A rms (100 V AC)
バースト電流(<1 秒) <sup>7</sup>	9.2 A rms (115 V AC), 4.4 A rms (230 V AC), 10.7 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	15.3 A peak (115 V AC), 7.8 A peak (230 V AC), 18 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	< 20.0 A (ピーク)
RMSネットワーク(オプション)	
	2芯のツイストペアネットワークで、アンプのすべての動作パラメータをシステムオペレーターのホストコンピュータに報告することができます。(※1)

## 仕様

外観	
サイズ(リギングなし)	幅: 21.80 in (554 mm) x 高さ: 20.30 in (515 mm) x 奥行き: 20.88 in (530 mm)
サイズ(リギングあり)	幅: 21.55 in (547 mm) x 高さ: 20.43 in (519 mm) x 奥行き: 20.88 in (530 mm)
重量(リギングなし)	89 lbs (40.3 kg)
重量(リギングあり)	105 lbs (47.6 kg)
エンクロージャー	カンパ材積層合板(質感のあるブラック仕上げ)
保護グリル	音響用ブラックメッシュ付きパウダーコーティング仕上げ、六角打ち抜きスチール
リギング	オプションのMRK-750リギングキットは、エンドフレームとキャプティブガイドリンクを0.25インチ×0.53インチのクイックリリースピンで固定し、0度、1.5度、3.25度、4.75度の角度で取り付け可能、サイドハンドルは着脱式です。リギングにより、グラッドスタック、フライング、カーディオイドの構成が可能です。
ポールマウント	U.S. version: 1.5インチ (38 mm) E.U. version: 1.375インチ (35mm、底面M20ネジ)

## 注釈

1. スピーカーシステムのカバレッジとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで利用できます。
2. 推奨最大動作周波数範囲です。応答は負荷条件と室内音響に依存します。
3. 半空間、4 m、1/3オクターブの周波数分解能をPinkノイズで測定。
4. **リニアピークSPL**は、1mを基準として4mの半空間で測定されます。リミッターの開始、2時間の継続、50度の周囲温度でMノイズを使用して測定したラウドスピーカーSPLコンプレッションは2dB以下です。

Mノイズは、スピーカーの音響性能をより良く測定するためにMeyer Sound社が開発した全帯域(10Hz~22.5kHz)のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベルを持ち、周波数によって増加するクレストファクターを持ち、全帯域幅のピーク対RMS比は18dBです。クレストファクターに関して大なり小なり(>)の記号があるのは、EQやバウンダリーの負荷によって高くなる可能性があることを示しています。

ピンクノイズは全帯域のテスト信号で、Peak/RMS比は12.5dBです。

Bノイズは、最も一般的な入カスペクトルを再現する際のシステム動作を測定値に反映させるため、またピンクノイズを超えるヘッドルームがあることを確認するために使用するMeyer Soundのテスト信号です。

5. 4、5番ピン(RMS)のみ、バランスオーディオとRMS信号の両方に対応するXLR5ピンコネクタに付属しています。
6. ピークパワーは、アンプが公称負荷インピーダンスに生成する最大非クリップ電圧に基づきます。
7. AC電源ケーブルは、バースト電流実効値条件下で、ケーブル伝送損失によりラウドスピーカーの電圧が規定の動作範囲より低下しないよう、十分なゲージを使用する必要があります。

※1 オプションRMSモジュールの提供は終了となります。今後、MeyerSound社はNebra Connection Managerソフトウェアによって管理されるMilan End Pointテクノロジーへ移行して参ります。

## 仕様設計

このスピーカーは、コンパクトでセルフパワー、リニア、低歪み、低周波コントロールエレメントであり、フライング、グラッドスタック、カーディオイド構成が可能です。トランスデューサーは、2Ωの公称インピーダンスを持つ15インチのデュアルコイル、ロングエクスカーション・コールドライバー1台です。

スピーカーは、内部プロセッシングと2チャンネル、オープンループ、クラスDアンプを内蔵しています。プロセッシングには、イコライザー、位相補正、ドライパー保護が含まれます。標準型製造装置の性能仕様は、下記のとおりです：動作周波数範囲は35-125 Hz；周波数範囲は 37-110 Hz ±4 dB(半空間、4 m周波数分解能1/3オクターブでピンクノイズを用いて測定)；位相特性は43 Hz-110 Hz±30°；リニアピーク SPL は 130.5 dB、クレストファクター 9dB以下(1 mを基準に4 mの半空間でMノイズを用いて測定)です。

オーディオコネクタは、バランスオーディオに対応したXLR3ピン(オスループ付きメス)、またはバランスオーディオとRMSの両方に対応したXLR5ピンです。

内部電源は、EMIフィルタリング、ソフトカレントターンオン、サージサプレッションを行います。電源要件は、公称100、110、230VACライン電流、50-60Hzです。UL および CE の動作電圧範囲は、50-60 Hz で AC100-240 V です。入力とループ出力のAC電源コネクタは、powerCON 20です。

最長連続使用電流は、AC115Vで5.3A rms、AC230Vで2.7A rms、AC100Vで6.2A rmsです。

スピーカーは、オプションのRMSリモートモニタリングシステムモジュールに対応します。

部品は、最適に調整された通気性のあるエンクロージャーに取り付けられ、高級カンパ材で構成されており、わずかに質感のある黒色仕上げが施されています。

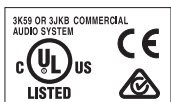
オプションとして、0°、1.5°、3.25°、4.75°の傾斜角度でユニットを垂直アレイで連結するためのガイドリンク付きエンドフレームを用意しています(エンクロージャー用のリギング)。前面保護グリルは、音響用ブラックメッシュ付きでパウダーコーティングされた六角形打ち抜きスチール製です。

寸法は、幅21.80インチ(554mm)×高さ20.30インチ(515mm)×奥行き20.88インチ(530mm)です。オプションのリギングを使用した場合の寸法は、幅21.55インチ(547mm)×高さ20.43インチ(519mm)×奥行き20.88インチ(530mm)です。重量は40.3kg(89ポンド)です。オプションのリギングを使用した場合の重量は、47.6kg(105ポンド)です。

スピーカーは、Meyer Sound 750-LFCです。

Meyer Sound Laboratories, Inc.  
2832 San Pablo Avenue  
Berkeley, CA 94702

+1 510 486.1166  
www.meyersound.com/contact  
www.meyersound.com



750-LFC  
04.271.004.02 A2  
Copyright © 2019. All Rights Reserved.



株式会社アートウィズ  
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2  
Tel : 03-5667-9682